

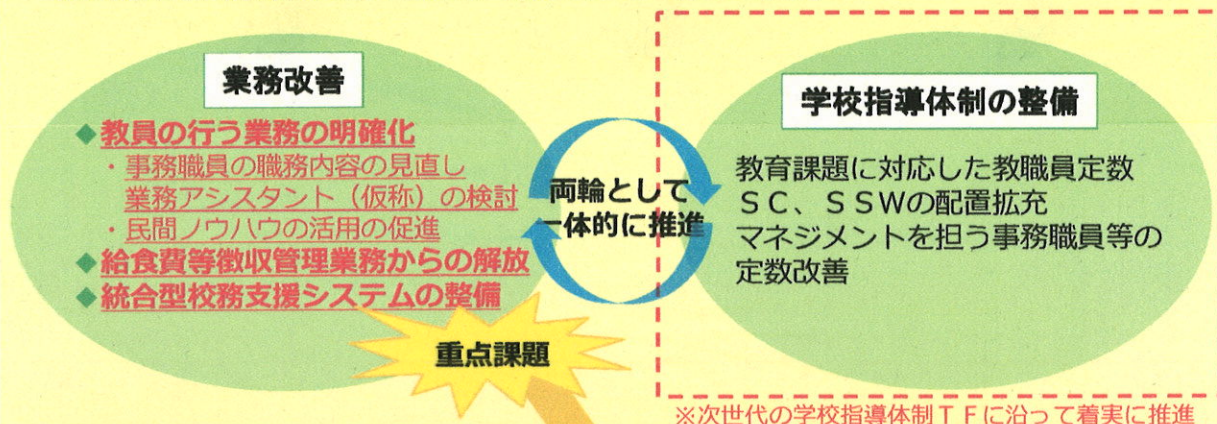
学校現場における業務の適正化に向けて

次世代の学校指導体制にふさわしい教職員の在り方と業務改善のためのタスクフォース報告（概要）

- 学校が抱える課題が複雑化・困難化する中、**教員の長時間労働の実態**が明らかに。
- これからの時代を支える創造力をはぐくむ教育へ転換し、複雑化・困難化した課題に対応できる「**次世代の学校**」を実現するため、**教員が誇りや情熱をもって使命と職責を遂行できる環境**へ。
- 教員の長時間労働の状況を改善し、教員が子供と向き合う時間を確保**するための改善方策を提案。

1. 教員の担うべき業務に専念できる環境を確保する

学校や教員の業務の見直しを推進し、教員が担うべき業務に専念できる環境整備を推進
業務改善と学校指導体制の整備を、両輪として一体的に推進



2. 部活動の負担を大胆に軽減する

生徒の多様な体験の充実、健全な成長の促進の観点からも、部活動の適正化が必要

休養日の明確な設定等を通じた運営の適正化等を促進

- ◆ 毎年度の調査*を活用し、各中学校の休養日の設定状況を把握し改善を徹底
- ◆ 総合的な実態調査、スポーツ医科学等の観点からの練習時間や休養日等の調査研究
- ◆ 運動部活動に関する総合的なガイドラインの策定
- ◆ 中体連等の大会規定の見直し
- ◆ 部活動指導員（仮称）の制度化・配置促進等

*全国体力・運動能力、運動習慣等調査

3. 長時間労働という働き方を改善する

業務改善を断行するためには、**働き方そのものの価値観の転換**が必要

国、教育委員会、学校の**パッケージの取組**（明確な目標設定と、適切なフォローアップ・支援）により、実効性を確保

長時間労働という働き方を見直し、心身ともに健康を維持できる職場づくり

- ◆ **勤務時間管理の適正化**（GP 発信、長時間労働是正のための周知・啓発キャンペーンの実施）
- ◆ **教員の意識改革**（（独）教員研修センターの管理職等研修の見直し）
- ◆ メンタルヘルス対策の推進

明確な目標の設定・周知、学校サポート、フォローアップを行い、学校組織全体としての業務改善のPDCAサイクルの確立を促進



4. 国・教育委員会の支援体制を強化する

- ◆ 省内に「**学校環境改善対策室**」（仮称）を設置、業務改善アドバイザーを配置し自治体等に派遣



平成29年4月28日

教員勤務実態調査（平成28年度）の集計（速報値）について（概要）

1. 調査の概要

（1）経緯

「教育政策に関する実証研究」の一つとして、教員の勤務実態の実証分析を平成28～29年度の2か年で実施。【委託機関：株式会社リベルタス・コンサルティング】

今回、教員勤務実態調査のうち、教員の勤務時間に係る部分の速報値が取りまとまったことから公表するもの。

（2）実施方法

日程：平成28年10月～11月のうちの連続する7日間

対象：小学校400校、中学校400校（確率比例抽出により抽出。）に勤務する教員（校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、講師、養護教諭、栄養教諭。当該校のフルタイム勤務職員全員）を対象。

回答数：小学校：397校 中学校：399校
小学校教員：8,951名 中学校教員：10,687名

項目：①学校調査票（※）

- ・学級数、児童生徒数
- ・教職員数、専門スタッフの人数及び勤務時間等の指導体制
- ・ICT機器等の活用状況
- ・運営体制・業務改善の取り組み 等

②教員個人調査票

- ・属性（性別、年齢、雇用形態、教職歴等）
- ・学級担任の有無と担当学年、担当児童生徒数
- ・部活動顧問の状況
- ・校務分掌の状況
- ・7日間の勤務実態の記録（30分単位）
- ・ストレスチェック調査（※） 等

（※）の項目は、29年度末までに集計・分析予定

2. 調査結果の概要

(1) 教員の1日当たりの学内勤務時間

前回調査（平成 18 年度）と比較して、平日・土日ともに、いずれの職種でも勤務時間が増加。（教諭（主幹教諭・指導教諭を含む。）については、1 日当たり、小学校平日 43 分・土日 49 分、中学校平日 32 分・土日 1 時間 49 分）

時間：分

平日	小学校			中学校		
	28 年度	18 年度	増減	28 年度	18 年度	増減
校長	10:37	10:11	+0:26	10:37	10:19	+0:18
副校長・教頭	12:12	11:23	+0:49	12:06	11:45	+0:21
教諭	11:15	10:32	+0:43	11:32	11:00	+0:32
講師	10:54	10:29	+0:25	11:17	11:04	+0:13
養護教諭	10:07	9:38	+0:29	10:18	10:01	+0:17

土日	小学校			中学校		
	28 年度	18 年度	増減	28 年度	18 年度	増減
校長	1:29	0:42	+0:47	1:59	0:54	+1:05
副校長・教頭	1:49	1:05	+0:44	2:06	1:12	+0:54
教諭	1:07	0:18	+0:49	3:22	1:33	+1:49
講師	0:56	0:17	+0:39	3:12	1:25	+1:47
養護教諭	0:46	0:07	+0:39	1:09	0:19	+0:50

(2) 教員の1週間当たりの学内総勤務時間

時間：分

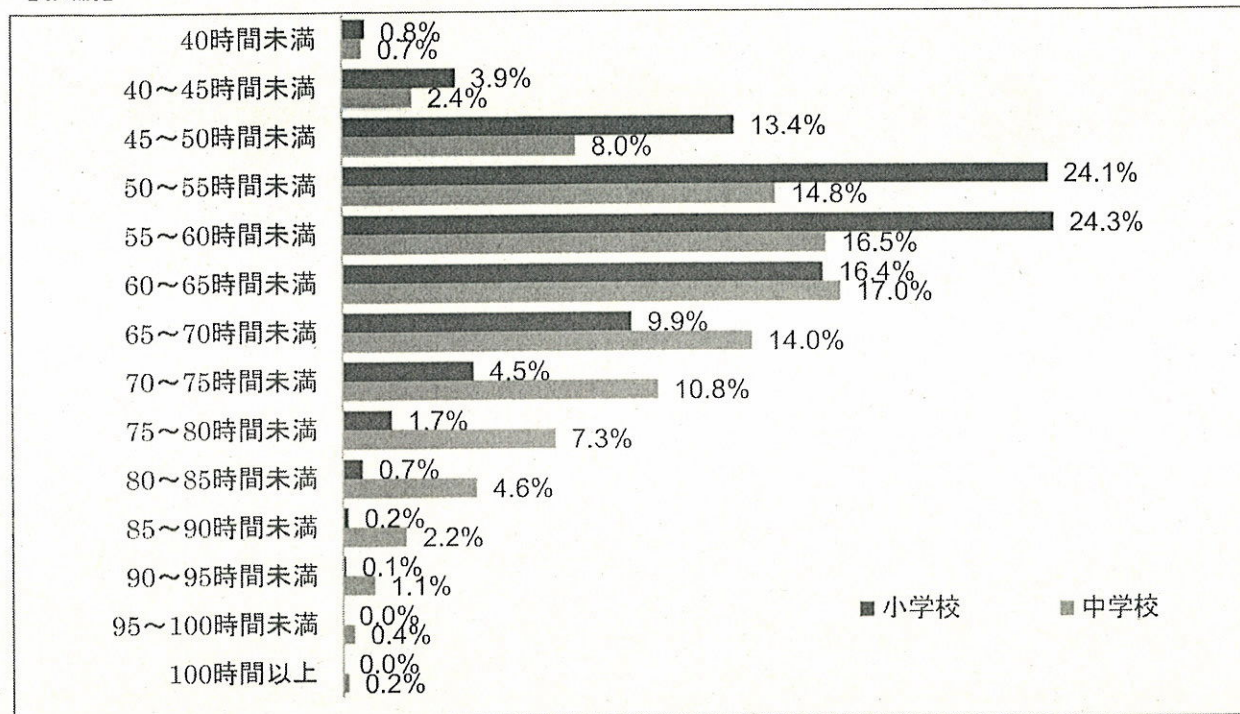
	小学校			中学校		
	28 年度	18 年度	増減	28 年度	18 年度	増減
校長	54:59	52:19	+2:40	55:57	53:23	+2:34
副校長・教頭	63:34	59:05	+4:29	63:36	61:09	+2:27
教諭	57:25	53:16	+4:09	63:18	58:06	+5:12
講師	55:18	52:59	+2:19	61:43	58:10	+3:33
養護教諭	51:03	48:24	+2:39	52:42	50:43	+1:59

※28 年度調査では、調査の平均回答時間（1 週間につき小学校 64 分、中学校 66 分）を一律で差し引いている。

(3) 1週間当たりの学内総勤務時間数の分布（教諭と副校長・教頭）

1週間当たりの学内総勤務時間について、教諭（主幹教諭・指導教諭を含む。）のうち、小学校は55～60時間未満、中学校は60～65時間未満、副校長・教頭のうち、小学校は60～65時間未満、中学校は55～60時間未満の者が占める割合が最も高い。

【教諭】



【副校長・教頭】

